

# 屋久島スタディツアー

グリーンコンシューマー大阪ネットワーク・高槻 ー7月14日～17日ー

G-CON高槻企画のツアーを7月14～17日にかけて3泊4日の日程で行いました。参加者5名。世界自然遺産の島「屋久島」へ一度は訪れたいと思っても、なかなか機会に恵まれず、今年の5月の連休にツアーを企画しました。ところが、世界遺産ブームのためか航空券がとれず断念。と、言うことは屋久島中が観光客でいっぱいなのだろうか??しかしなんとしても体力気力の残っているうちに樹齢7000年の縄文杉に会いたい!そこで再度の挑戦となりました。

南の島のイメージどおり、エメラルド色の海に囲まれた美しい島、屋久島は、しかし洋上アルプスといわれるとおり、中心部に九州最高峰の宮之浦岳をはじめ1800m以上の山々がそびえ、樹齢数千年のヤクスギが育つ山岳島として、また亜熱帯、暖帯、湿帯、亜高山帯の植物が垂直分布する特異な生態系を構成するところから、生態地理学上大変貴重な島なのです。そこにかもし出される不思議な生命の躍動感と神秘的な様は、さすがにすごい。

今回のツアーには、鶴殿のヨシの観察と研究を続けてこられたヨシ原研究所の小山弘道所長と事務局の谷岡さん、江口さんがメンバーとして参加され、まさに環境スタディツアーにふさわしく実り多いものになりました。百聞は一見にしかずのとおり現地を見て考えることは貴重な体験でした。

しかし...そのための被害もまた深刻でしょう。ウミガメの産卵視察も、なくてはならないトレも、多くのボランティアや島の方々の弛みない努力に支えられています。

自然と人間の関わりのあるあり方や、また遠い地から何ができるのか、大自然の懐に抱かれて「癒し」の力をいただきながらゆっくり考える機会になりました。

